

2024年度第1四半期 決算補足資料

2024年8月9日



2024年度 第1四半期決算のポイント

(単位：百万円)

	2023年度				2024年度 1Q	対前年同期比
	1Q	2Q	3Q	4Q		
売上高	37,996	39,754	41,061	39,443	38,403	+407
営業利益	227	374	1,041	649	101	△126
経常利益	357	581	874	762	693	+336
当期純利益	452	448	355	△8,954	488	+36

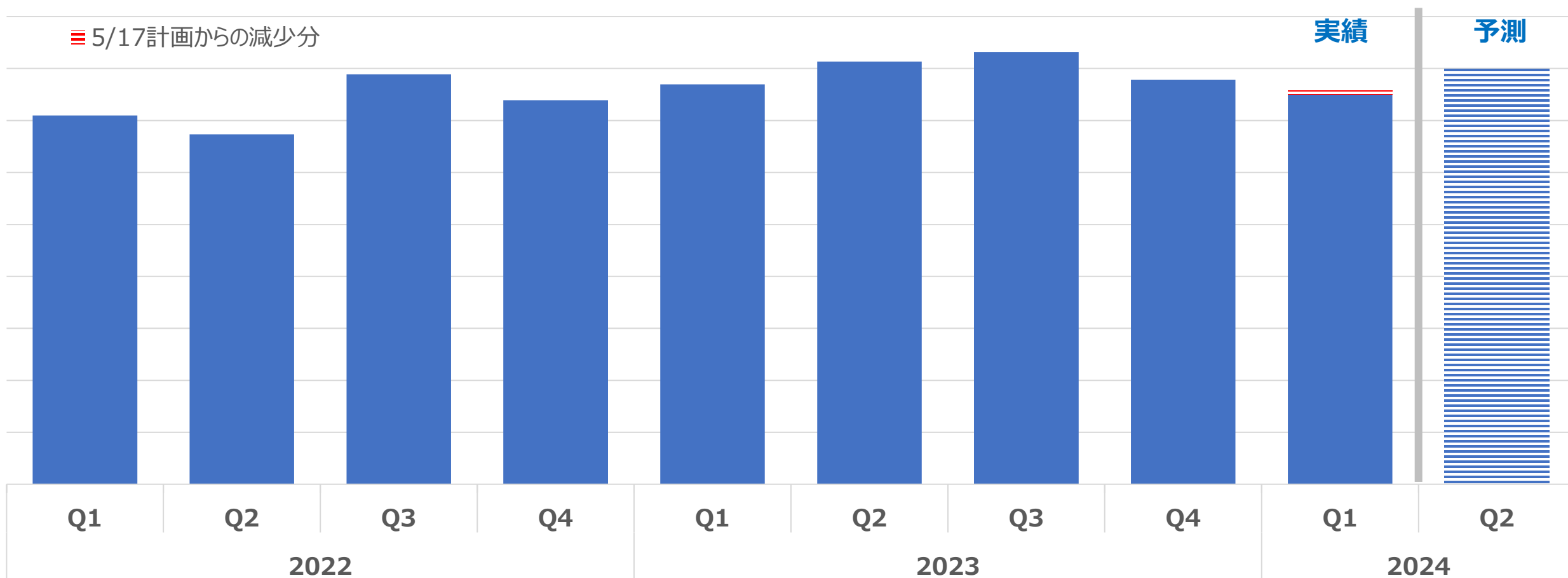
《全体感》

- 売上高： 前年同四半期比1.1%増ながら円安進行の影響が大きい
国内及び中国市場を中心とした主要顧客の販売不振等により受注量は前年同期比減少
- 営業利益： 受注量の減少に対し、生産体制の合理化や固定費の削減に取り組むも、原材料価格の高騰による調達コスト増等もあり、前年同四半期比減益
- 当期純利益： 円安進行による為替差益の計上等により増益

売上重量推移

地域差はあるものの、一部主要顧客の販売不振等の影響を受け、計画に対し第1四半期は微減
第2四半期以降は緩やかに回復していく見込み

≡ 5/17計画からの減少分



ダイカスト事業

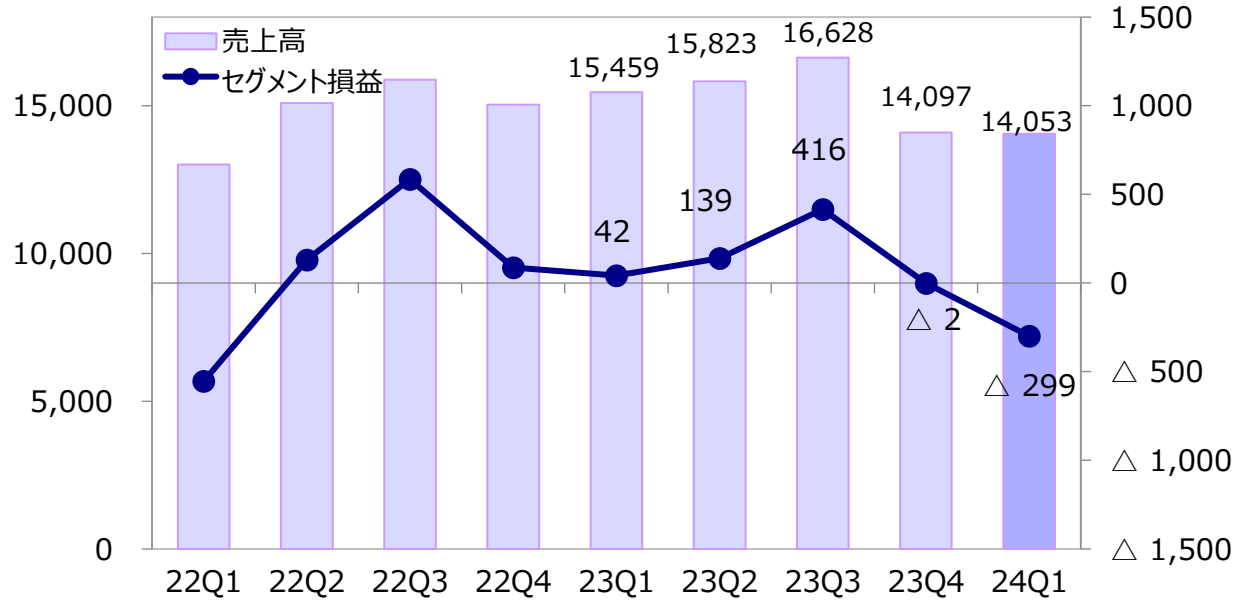
(単位：百万円)

		2023年度				2024年度 1Q	対前年同期比
		1Q	2Q	3Q	4Q		
日本	売上高	15,459	15,823	16,628	14,097	14,053	Δ 1,406
	セグメント 損益	42	139	416	Δ 2	Δ 299	Δ 341
北米	売上高	11,307	11,664	12,475	12,521	13,053	+1,746
	セグメント 損益	405	288	255	294	298	Δ 107
アジア	売上高	7,707	8,595	8,609	10,187	8,710	+1,003
	セグメント 損益	Δ 617	Δ 371	138	200	252	+869

※ 北米セグメントのメキシコ工場及びアジアセグメントの中国2工場は12月決算となります。

ダイカスト日本

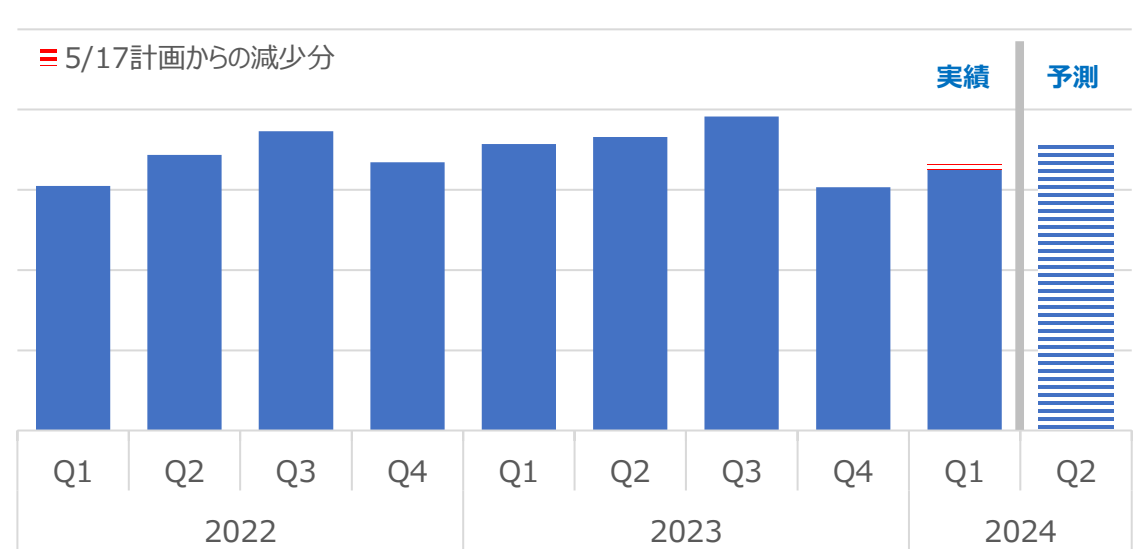
売上高／セグメント損益の推移 (単位:百万円)



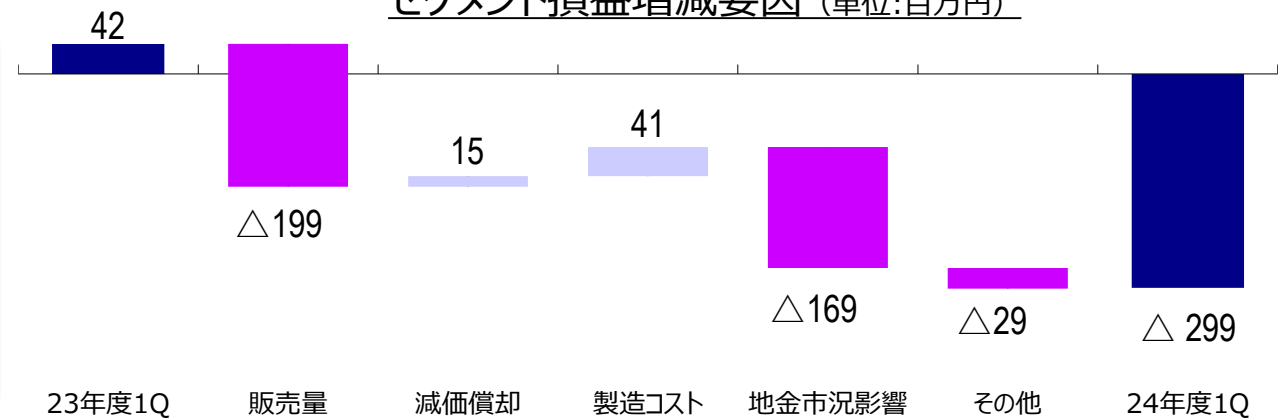
売上：140億円 前年同四半期比△14億円 (△9.1%)
損益：△2.9億円 前年同四半期比△3.4億円 (赤字)

- 一部主要顧客の生産量減少の影響により減収
- 製造コストの圧縮を進めるも、受注量の減少及びアルミ地金価格の高騰もあり赤字に

売上重量の推移

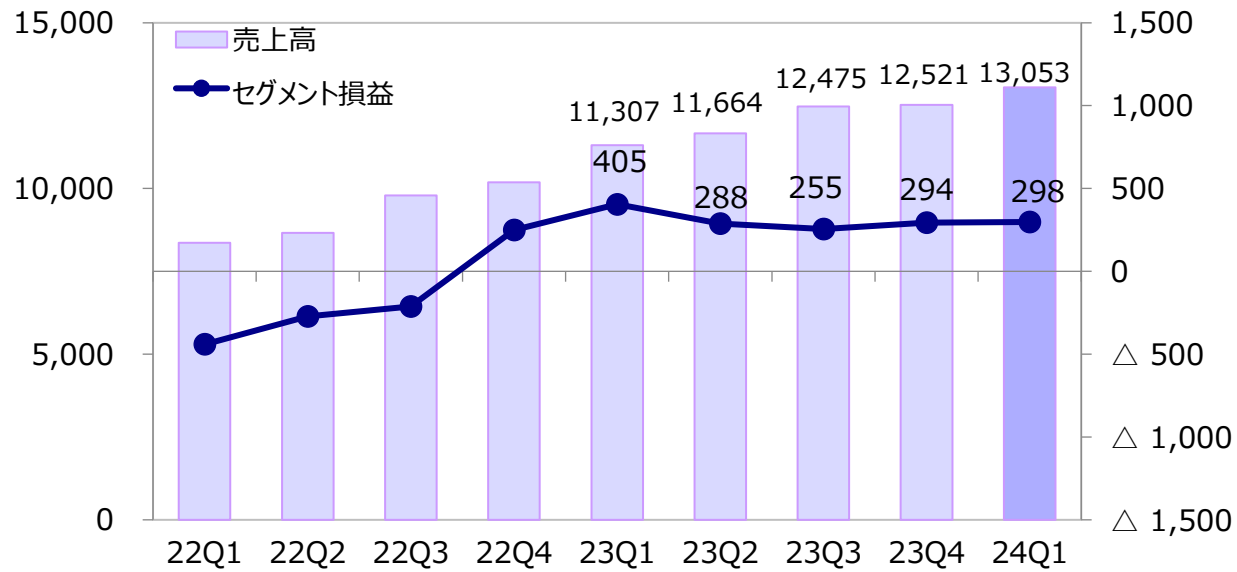


セグメント損益増減要因 (単位:百万円)

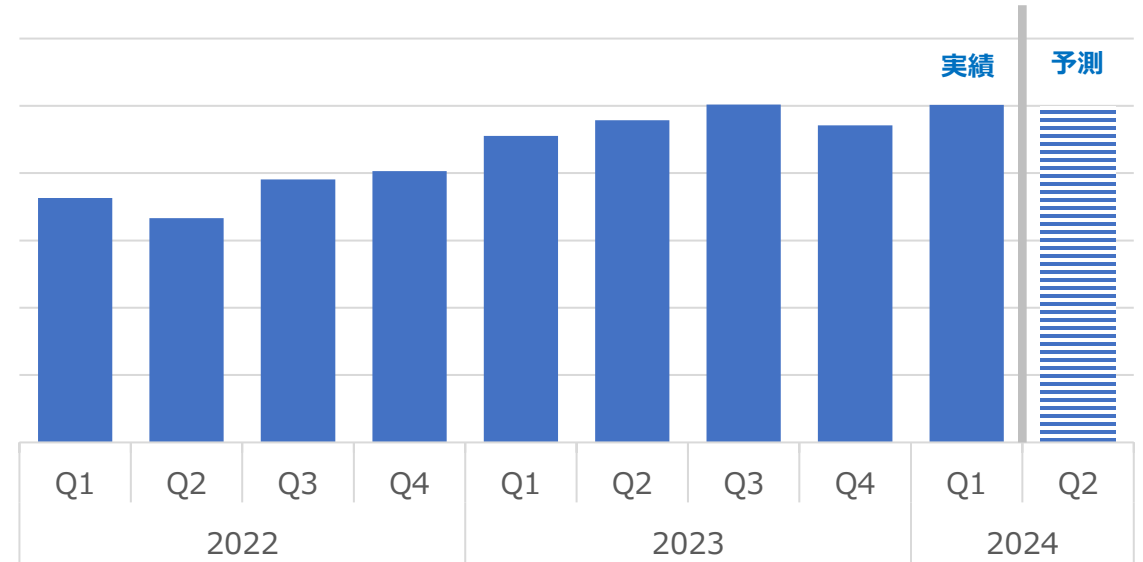


ダイカスト北米

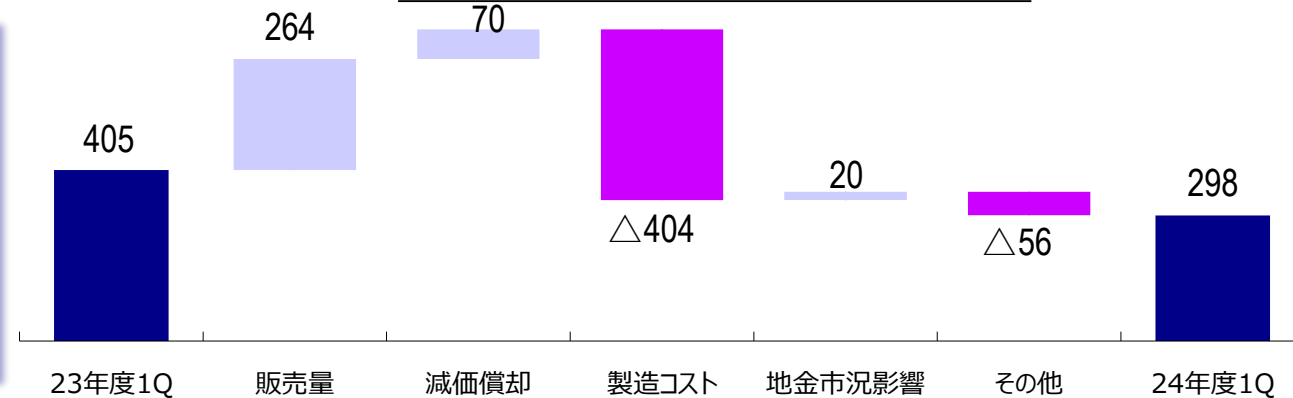
売上高／セグメント損益の推移 (単位:百万円)



売上重量の推移



セグメント損益増減要因 (単位:百万円)

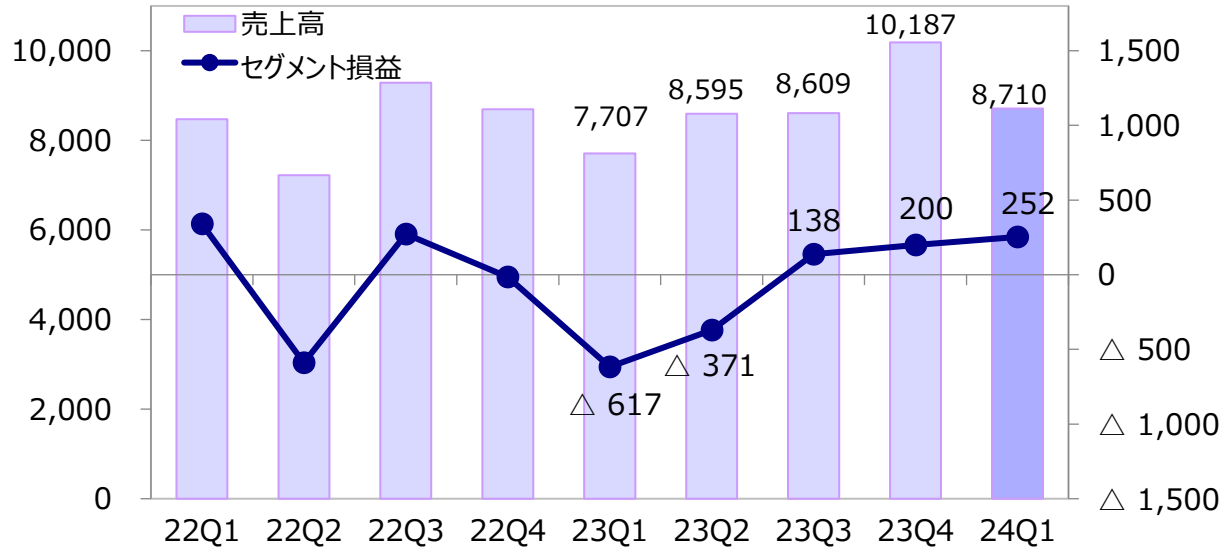


売上：130億円 前年同四半期比+17億円 (+15.4%)
損益：2.9億円 前年同四半期比△1.0億円 (△26.4%)

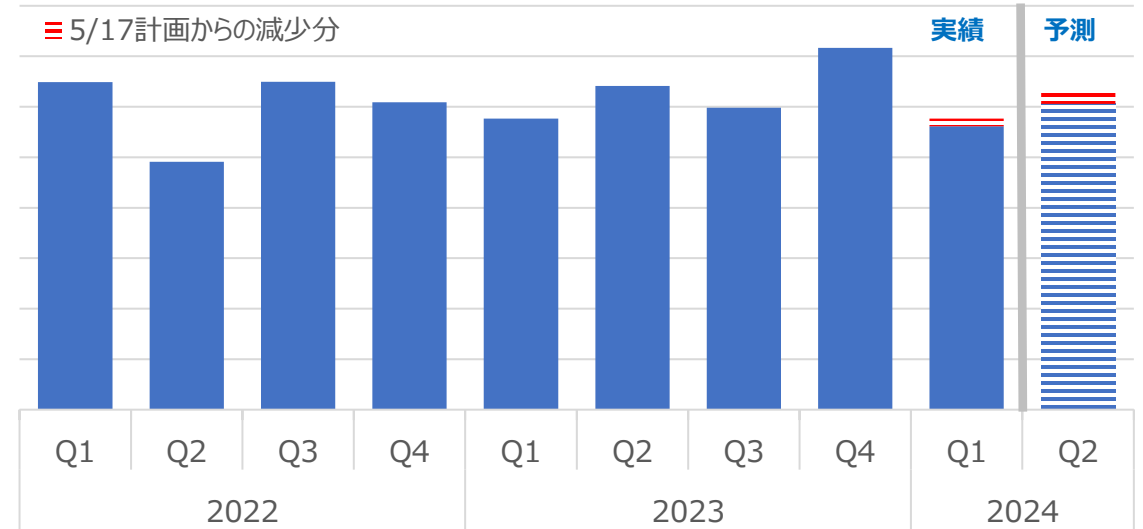
- 北米自動車生産の回復による受注量増加及び円安進行により増収
- 労務費等の上昇が継続的に収益を圧迫しており、原価低減活動により製造コスト低減に努めるも減益

ダイカストアジア

売上高／セグメント損益の推移 (単位:百万円)



売上重量の推移

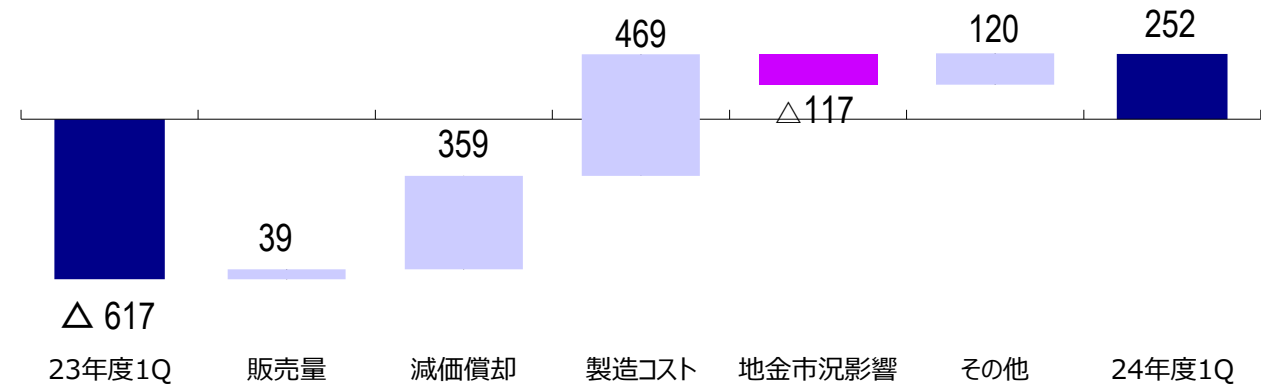


売上：87億円 前年同四半期比+10億円 (+13.0%)

損益：2.5億円 前年同四半期比+8.6億円 (黒字化)

- 中国での主要顧客の販売不振が続くものの、インド工場の増産及び円安進行により増収
- 中国で受注量に応じた人員の適正化が進み、前年度の減損計上による減価償却費の圧縮もあり黒字化

セグメント損益増減要因 (単位:百万円)



アルミニウム事業および完成品事業

(単位：百万円)

		2023年度				2024年度 1Q	対前年同期比
		1Q	2Q	3Q	4Q		
アルミニウム 事業	売上高	1,842	1,667	1,907	1,641	1,699	△143
	セグメント 損益	55	33	42	11	15	△40
完成品 事業	売上高	1,679	2,005	1,440	999	887	△792
	セグメント 損益	174	313	254	150	19	△155

<アルミニウム事業>

- 売上：アルミ地金市況の上昇影響はあったものの、販売量の減少に伴い減収
- 損益：販売量の減少と原材料価格の高騰により減益

<完成品事業>

- 売上：半導体関連企業の大型物件の受注は引き続き好調だが、複数の大型物件向け売上計上が重なった前期と比較すると減収
- 損益：売上高の減少に伴い減益

Topics : ダイカスト展示会出展情報

- 2040年をターゲットにした「軽量化で地球の未来へ貢献するアーレスティ」を提示
将来のモビリティの多様化に応える技術とその活用の提案・展示

【2024 日本ダイカスト会議・展示会】 [j-dec | 2024 日本ダイカスト会議・展示会](#)

- ✓ 日時 : 2024年11月14日 (木) ~16日 (土)
- ✓ 会場 : パシフィコ横浜
- ✓ テーマ : 「期待を超える2040」 ~ 軽量化で地球の未来に貢献する
- ✓ 展示内容 (予定) :
 - リアアンダーボディのマルチマテリアル試作品
 - 電動車搭載部品、車体系部品展示
 - 接合要素技術展示によるアルミダイカストの可能性の提案
 - カーボンニュートラルへの取り組み
 - ダイカスト周辺設備 (ジェットクールシステムの動態展示によるデモンストレーション、ジェットクーラー、クールチューブなど)



【展示ブースイメージ】



Casting Our Eyes on the Future

視線はまっすぐ未来へ

【本資料及び当社IRに関するお問合せ先】

株式会社アーレスティ 経営企画部 経営企画課 TEL 03-6369-8664

E-mail: ahresty_MP0_IR@ahresty.com

URL: <https://www.ahresty.co.jp>

本資料および本説明会で述べられた内容には、現時点で入手可能な情報に基づいて当社が作成した将来の見通しが含まれておりますが、様々な要因により、実際の業績はこれらの見通しと異なる場合があります。